学校番号	3005

令和５年度　電気電子工学科

教科	工業	科目	情報システム	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	学科作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報通信技術に関する知識と技術を習得するとともに、情報システムの基本的な仕組みを理解し利用する方法を探る学習です。情報システムやネットワークの性質や社会的意義について考え、活用・発展させる力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・情報通信技術・情報システムに関する技術的な仕組みを理解する。
・情報通信技術・情報システムを利用することの意義について考える。
・情報通信技術・情報システムの利用について様々な方法を知る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報通信・コンピュータシステムについて興味・関心をもち、自ら深く学ぼうと努力している。	情報通信・コンピュータシステムを利用する意義や価値について考察する。	ネットワークの接続演習、表計算ソフトやプログラム言語を用いて簡単なデータ処理の演習を行う。	通信技術・データ処理における様々な考え方について学ぶ。
評価方法	学習状況の観察	学習状況の観察 定期考査の結果	学習状況の観察 演習課題の提出	学習状況の観察 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	通信技術	1　有線通信システム 2　データ通信と ネットワーク 3　光通信 4　無線通信と衛星通信 5　電波・アンテナ・ 無線機器 6　通信に関する法規	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:主体的に学習に取り組み深く理解しようとする。 b:通信技術の具体例を示し、様々な方法について比較と検討できる。 c:簡単なネットワークが構築できる。 d:情報通信を理解している。	学習状況の観察 演習課題の提出 定期考査の結果
後期	情報システム	1　情報システム開発 の基礎 2　情報システムの 要求定義 3　システムプログラミング 4　情報システムの運用 5　情報システムの開発	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:主体的に学習に取り組み深く理解しようとする。 b:情報システム開発の方法について思考し、ドキュメントに表現できる。 c:簡単なシステムが構築できる。 d:情報システム構築について理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解